

⊕ 地域政党 さがみはら

中央区 最年少!! 相模原市議会議員

地域政党さがみはら代表



INFORMATION 揚助

私の政策を「動画」でご覧ください



1期目の主な改革実績

改革

2019年6月議会 質問

市長・特別職・市議会議員

賞与増見送り!

身を切る改革 一步実現

市議として初の質問で訴えたのは、為政者の「身を切る覚悟」。厳しい財政を理由に**市民負担が増す中、毎年上がり続ける市長ボーナスUPは市民感覚からズレている!**



改革

2021年6月議会 質問

銀河アリーナ 廃止を覆す

独自に市内全域を周り集めた、1700名以上のアンケート結果を市へ提出。**市民の声が届いた!**

議会では、運営改善や施設活用、収益化のアイデアを加え質問しました。



改革

2021年12月議会 質問

議員だけ無料は不公平!

議員専用駐車場

平面利用は市民の財産のムダ遣い

歳入確保へ創意工夫

議会中以外は駐車場が全て埋まることはまれ、議員も来庁者駐車場を利用すれば、議員駐車場の土地を有効活用できます。



令和5年度末廃止の予定から令和9年3月末まで運営継続、4年後の廃止の方針が示されました。

★市民の声に対して向き合った答えなのか・行政の都合で決まっていないか・挑戦や模索は足りているのか…真に改革すべき本丸に迫る機会と捉え、継続して追求します。

改革派議員として挑み、コロナ禍で考え、『しがらみ』があっては成し得ない改革のため政党結成

唯一の改革派議員として、納税者が納得できる政治をブレずに貫いた4年間でしたが、コロナ禍が始まった当初、市民が未曾有の危機に置かれても、

“国がやらないから”を理由に市独自の大胆な経済支援策を打ち出せず。

“横浜や川崎がやらないから”を理由に為政者自身は一切身を切らない。

国政政党や何らかの組織に所属する議員が中心となる市議会の中で、自らの無力さに苦しんでいました。そんな時“相模原の為だけに戦う政治を貫いて欲しい”との多くの声に背中を押され、国や他の地域はやらないけど“相模原はやっているよね”と市民皆さんから誇られる市政を実現する為、**最大の『しがらみ』**と言える**“国政政党”には一切頼らず**、同志と共に、**『地域政党さがみはら』を結成**しました。

地域政党 結党!!



さがみはら SAGAMIHARA PARTY

現政党メンバーで考えた 政党結成前に

5つの具体策を市長へ緊急提言!



提言内容を動画で解説

改革へ新しい挑戦！ 『地域政党さがみはら』結党！

国政政党に頼らない、相模原市民のための政治は自分たちで築く！

- 市議会議員の世代交代を成し遂げる。
- しがらみに囚われず、相模原ファーストの市政を目指す。
- 納税者が納得できる政治の徹底。
- 街の成長・発展に繋がる政策を提言し、**税金の確保・拡大を目指す！**



基本政策

世代交代可能な市議会の環境づくりに着手します。

リミット70

若い活力 × 経験の継承

議員の70歳定年制の導入を目指します。



40年後の人口は約20万人減少し、高齢化率が42%近くになると発表されている相模原。右肩上がりに成長し、若い人達が多かった時代であれば、安定感あるベテラン議員に任せるのも良いと思います。そもそもむやみに政治を変える必要はないと思います。しかし、これまでの政治の無策により、**子どもたちの人口が減り続けて行く危機的な状況**を迎えた今、**少子化対策、定住・流入人口の拡大**に繋げるため、**政治を変える！世代交代可能な市議会を実現**します。

市の発展には、改革と成長（税金の拡大）が必要不可欠！

人口同規模 政令市 決算（一部）比較 ※令和3年度



本市最大の弱点は、法人市民税収が政令市ワーストであること。用地確保が進まず（土地の不足）で大手企業が撤退…。

積極的な投資 スピーディなアクション

- 相模原駅北口地区（補給廠返還地）開発
- 橋本リニア新駅周辺のまちづくり
- 麻溝台・新磯野地区整備推進事業

街の発展 魅力ある街へ
税金アップ!!
企業誘致・住民サービス向上
さらなる未来への投資や開発

税金効果が最大限に発揮できる環境づくりを強力に推進します。

全国初となる政策で持続可能な都市を築きます。

リビルド2

水源区

全国初！
総合区導入を！

区割り再編 2区制へ水源区創設



緑・中央・南の区割りを再編し、2区制へ。

水源区を創設し総合区の導入。水源区で小水力発電事業（脱炭素社会に向けて）の展開。

個別政策

バス利用者の利便性の向上

交通空白地域・不便地域の解消等を図るため、グリーンスローモビリティやコミュニティバスの積極導入。

中学生への習い事・塾代クーポン券の配布

生まれ育った環境に左右されず、子どもたちの学習意欲、個性や才能を伸ばす機会を提供します。

中学部活動の指導員をプロ化

子どもファーストの中学部活動の地域移行を前提に、部活動の指導員をプロ化。

中学校選択制の導入

学区外の学校を希望する子どもの声が高まっています。入学する学校を選べるようにします。

小中学校給食費の段階的無償化

全国的に給食費を無償化する自治体が増えています。家庭の経済的負担を軽減し、子育て世代から選ばれる街を目指します。

第2子以降の保育料完全無料化

経済的な負担などから第2子の出生率が県内33市町村中、26番目となる相模原。少子化対策は待たないです。

県との連携を強化し 神奈川県庁の誘致を目指す

神奈川県からの独立（特別自治市構想）を目指す横浜・川崎市に追従せず、相模原市は独自に県との連携を強化し、神奈川県庁の誘致を目指す。水源地域に県の予算を拡充。

政党として仲間たちと挑戦する。

1期4年をブレずに貫き

市長・特別職市議会議員賞与増見送り

改革を実現

YouTube

私の政策を「動画」でご覧ください

えのもと揚助事務所

相模原市中央区横山 1-1-13 (2F)
TEL.042-707-0955

頒布責任者：高橋雄大

相模原市中央区横山 1-1-13 (2F)

印刷所：みつめデザイン事務所 相模原市南区当麻 749-1-106